



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1145 2018年11月5日

ARIBからのお知らせ

ARIB 機関紙 NO.103 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.103 を 10 月 31 日付にて発行いたしました。

本号では、当会の副会長による「巻頭言」を掲載し、総務省による（5G）総合実証試験に参加した企業からの寄稿を「トピックス」にて掲載しております。

「ARIB 活動報告」では、2018 年 7 月から 9 月末までの活動期間の報告を掲載しました。

ARIB 機関誌 No.103 掲載記事

1 【巻頭言】

- 無線通信の役割と ARIB の貢献

一般社団法人電波産業会 副会長 井伊 基之
(日本電信電話株式会社 代表取締役副社長 技術企画部門長)

- 自然災害への対応と放送・通信サービスの期待

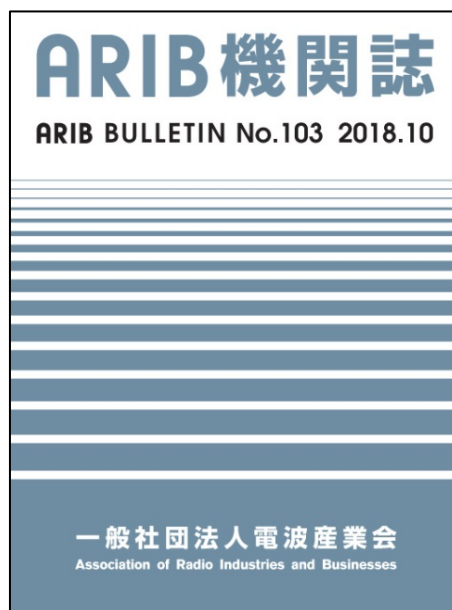
一般社団法人電波産業会 副会長 児野 昭彦
(日本放送協会 専務理事・技師長)

2 【トピックス】

- 平成 29 年度 5G 総合実証試験の全体概要
- 人口密集都市環境における 5G 超高速通信
- ルーラル環境における高速移動時の 5G 高速通信
- 5G 超遅延通信の活用
～ コネクテッドカー，建設機械遠隔操縦，
ドローンからの高精細映像伝送 ～
- 屋内環境における 5G 超高速通信の活用
- 自動運転を支援する 5G 超低遅延通信
～ 5G 超低遅延通信の
トラック隊列走行への適用 ～
- 5G の超多数同時接続を活用した防災倉庫
及びスマートオフィスの実証

3 【ARIB 活動報告】

電波の利用に関する調査、研究及び開発
電波利用システムの調査研究
電波利用システムの研究開発
高度無線通信研究開発
電磁環境調査研究



コンサルティング及び普及啓発
標準規格の策定
委員会報告
ARIB 日誌
出版物一覧
事務局の現状
事務局だより

ARIB 機関誌電子版を「ARIB 会員のページ」、「ARIB 機関誌」に掲載しておりますので、ご活用ください。

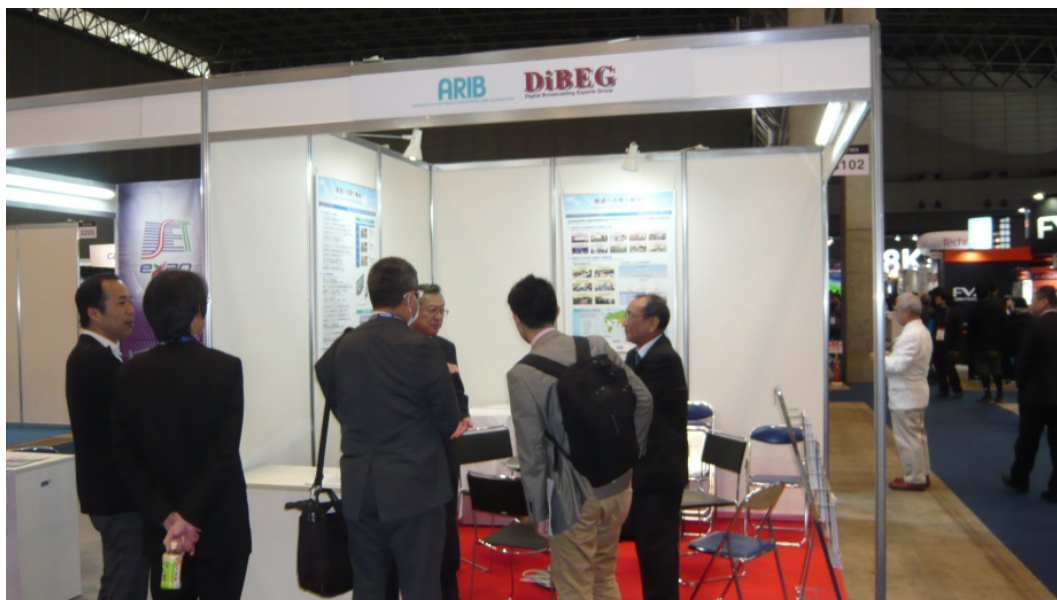
なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

Inter BEE 2018 への ARIB ブースの出展

Inter BEE 2018（国際放送機器展）が、11月14日（水）から16日（金）まで幕張メッセで開催されます。ARIB は、昨年に引き続いて展示ブースを出展することになりましたのでご紹介させていただきます。

ARIB は、通信・放送分野における電波利用システムに関する標準規格の策定を行うとともに、策定した標準規格の国際展開に関する活動等を行っています。

特に、地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）の国際普及活動については、ARIB 内にデジタル放送普及活動作業班（DiBEG: Digital Broadcasting Experts Group）を設置して積極的に活動を行っています。その結果、ISDB-T は、2006 年にブラジルが採用を決定してから、中南米、アジア、アフリカにおいて日本を含む 19 国が採用するに至っています。



昨年の InterBEE における ARIB ブースの様様

また、本年 12 月 1 日より予定されている衛星放送による 4K・8K 放送(新 4K8K 衛星放送)の衛星放送方式やスタジオ規格等の標準規格の策定を行っています。

今回の ARIB の展示ブースでは、これまでの ISDB-T の国際普及活動の概要や放送分野の標準規格の策定状況について、パネル展示やパンフレット配布を行います。

ARIB ブースは#8206 (Hall8)に設置される予定です。会員の皆様におかれましては、Inter BEE 2018 へのご来場の際には、是非、ARIB ブースにもお立ち寄りいただければ幸いです。

ARIBの動き

第 17 回日中韓情報通信標準化会議 (CJK-17) の概要

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓 3 か国の情報通信標準化機関 (SDO) の相互協力をより積極的に推進することを目的として 2002 年に「日中韓情報通信標準化会議 (CJK IT Standards Meeting)」が設立され、活動を続けてきました。

その第 17 回会合 (CJK-17) が、ARIB 及び TTC* のホストにより 2018 年 10 月 24 日から 26 日まで、日中韓の 4 SDO (ARIB、CCSA*、TTA* 及び TTC*) から計 30 名 (ARIB からは佐藤参与(議長)、森山理事、西岡理事 他 4 名) が参加し、松江市で開催されました。

全体会合は、各 SDO からの活動状況・予定の報告、Strategic Session、各 WG からの報告、及び HoD Adhoc で構成されました。

各 SDO からの活動報告では、IoT、AI 時代へ向け、種々の産業界、フォーラム標準化団体等へ、協力の範囲を広げていく取り組みが多く紹介されました。

また Strategic Session では、“Smart City” を主テーマに発表と議論が行われました。外部の企業や大学の専門家も招かれて、各 SDO から重点的に取り組んでいる領域、アプローチや事例について発表があり、多様な分野からの知見を集め、活動の成果を広めるための仕組みについての課題が認識されました。これらに対し多くの質問やコメントもあり、活発な議論が展開されました。

WG からの報告では、IMT、IS (Information Security)、WPT (Wireless Power Transmission)、NSA (Network Service Architecture : 旧 IoT)、TACT (TTA-ARIB-CCSA-TTC : 事務関連事項) から、前回 CJK-16 以降の活動内容、会合開催状況、寄与文書や標準規格化実績等の成果及び今後の計画が示され、承認されました。



参加者



会合の様相

HoD Adhoc は各 HoD、議長の他に各 SDO からの専門家も招かれ、それまでの報告や課題を踏まえて今後の CJK 会合の活動、構成や各 WG についての議論が行われ、結論として以下の 2 点が報告されました。

- (1) ITS WG の設立に向け、①検討範囲、②活動方針・戦略、③活動スケジュール、④期待する成果物 を検討するための Ad hoc 活動を開始する。(当面 HoD 電話会議で検討を実施する)
- (2) IS WG 及び NSA WG の今後の活動について、(1)の完了後に検討する。

最後に、次回の日中韓情報通信標準化会議 (CJK-18) は 2020 年 4 月に中国・杭州で開催されることが、CCSA よりアナウンスされました。

*CCSA: China Communications Standards Association	中国通信標準化協会 (中国)
*TTA : Telecommunications Technology Association	電気通信技術協会 (韓国)
*TTC : The Telecommunications Technology Committee	情報通信技術委員会 (日本)

今週の ARIB 内会合 (11 月 5 日～11 月 9 日)

- 11 月 5 日 (月) 素材伝送開発部会 地上無線素材伝送作業班・SNG 検討作業班 (合同)
- 11 月 7 日 (水) スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班
- 11 月 7 日 (水) 第 162 回電波利用懇話会

今週の国際会合 (11 月 5 日～11 月 9 日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電波利用環境委員会報告 (案) に対する意見募集 — 携帯電話端末等の電力密度の測定方法等 —

【平成 30 年 10 月 29 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会 (主査: 多氣 昌生 首都大学東京システムデザイン学部教授) は、「携帯電話端末等の電力密度の測定方法等」について委員会報告 (案) を取りまとめました。

本委員会報告 (案) について、平成 30 年 10 月 30 日 (火) から同年 11 月 28 日 (水) までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成 30 年 10 月 29 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp